

文化庁委託事業

若手映画作家育成プロジェクト2018

ndjc

NEW DIRECTIONS IN  
JAPANESE CINEMA 2018

# 合評上映会

今年度プロジェクト  
全5作品(各30分)が完成!

東京

2/5 [火] 13:00-  
丸の内TOEI①

京都

2/13 [水] 18:00-  
京都文化博物館 フィルムシアター

大阪

2/14 [木] 18:00-  
シネ・リーブル梅田

名古屋

2/15 [金] 18:30-  
シネマスコーレ

※上映開始時間は、若干変更になることもございます。事前にndjcホームページをご確認ください。

## 一般モニター募集中

**「合評上映会」に参加して、皆さまの声で若手監督を育ててみませんか？**

合評上映会は今年度の完成作品をいち早くご覧いただき、講評としてご意見・ご感想をいただく完成披露上映会です。この上映の一般モニターを募集します。応募方法など詳しくはホームページをご覧ください。ご応募お待ちしております！

※一般モニターは定員に達し次第、募集を締め切らせていただきます。

合評上映会の詳細・応募はこちらから >>

ndjc



文化庁委託事業  
若手映画作家育成プロジェクト2018

日本映画の振興の一環として文化庁よりVIPOが委託を受け2006年度よりスタートしたプロジェクト。優れた若手映画作家を対象に、本格的な映像制作技術と作家性を磨くために必要な知識や技術を継承するための製作実地研修を実施。次代を担う長編映画監督の発掘と育成を目指しています。2006年度から今年度まで、合計67名の若手映画作家が、このプロジェクトに参加して最終課題である短編映画を完成させました。



TITLE **くもりときどき 晴れ**

作家推薦団体 ショートショートフィルムフェスティバル&アジア ブースタープロジェクト  
制作プロダクション

CAST MEGUMI 浅田美代子 水橋研二 有福正志

STORY 晴子の元に通の手紙が届く。それは生き別れた父の生活保護扶養照会。25年前に両親が離婚して以来父の消息、家族の中で晴子にだけは優しく父。そんな父に晴子は会いに行く…。25年ぶりの父の姿に、晴子は家族の中で一人揺れ動く。

<カラー / ビスタサイズ / 30分>



監督 **板橋 基之**  
MOTOYUKI ITABASHI

1976年東京都生まれ。法政大学文学部日本文学科卒業。映像ディレクターとして、ドキュメンタリー番組、広告映像などを企画・演出。2016年に初監督短編映画「おべんとう」がモントリオール世界映画祭、SSFF & Asia他、数々の国内外の映画祭で上映・受賞。2017年、「a LIVE」を監督。



TITLE **はずれ家族のサーヤ**

作家推薦団体 大阪芸術大学映像学科  
制作プロダクション テレビマンユニオン

CAST 横溝菜帆 黒川芽以 増子優文江 田村豪二 森優理斗

STORY 沙綾は、祖母と二人で暮らす小学3年生。恋人との生活を選び家を出た母親は、折折父親の違う弟を連れ沙綾に会いに来る。ある日、沙綾は学校帰りの公園で、古い木箱を売るおもちゃ売りの男に出会う。何の変哲もないその箱には不思議な力があるという…。

<カラー / ビスタサイズ / 30分>



監督 **岡本 未樹子**  
MIKIKO OKAMOTO

1984年大阪府生まれ。大阪芸術大学映像学科卒業。大森一樹監督など多くの指導者から映画製作の基礎を学び、短編「おねちゃんのすきなひと」を制作。2007年にアジア国際青少年映画祭にて上映・受賞。卒業後は助監督として富樫森、佐々部清、瀧本智行などの監督作品に参加。



TITLE **最後の審判**

作家推薦団体 シナリオ・センター  
制作プロダクション ジャンゴフィルム

CAST 須藤蓮 永瀬未留 黒沢あすか 荒谷清水

STORY 東京美術大学の受験に挑む福葉は浪人5年目。今年で最後の挑戦と決めている。試験は人物審判。会場で興彩を放つ初音はとつもない画力把他者を圧倒し福葉も自分のペースを見失ってしまう。初音の画力の秘密は似顔絵を描いてきた中で培ってきたものだった。

<カラー / ビスタサイズ / 29分>



監督 **川上 信也**  
SHINYA KAWAKAMI

1976年京都府生まれ。東京工芸大学デザイン科卒業。映像制作会にて多くのCM、MVなどを演出。国内外の賞を多数受賞。2013年より映像ディレクターとして独立。2014年、きりゆう映画祭にて短編「KI-RYU」を監督。SSFF & Asia, New Filmmakers LAなどで上映。2018年、短編「桃の缶詰」がSSFF & Asia、札幌国際短編映画祭に選出。



TITLE **サヨナラ家族**

作家推薦団体 東京芸術大学大学院映像研究映画専攻  
制作プロダクション スタジオブルー

CAST 石田法嗣 根岸季衣 村田唯 土居志央梨 佐野和宏 斎藤洋介

STORY 一年前、目の前で突然父が死んだ。いまだ受け止めきれない洋平は、妊娠中の妻を残して一周忌のため実家に帰省する。実家の母と妹は、それぞれの方法で父の死を受け止めようとしている。それが洋平にはどうしても納得できない。困惑する洋平の前に不思議な現象が見え始める。

<カラー / スkoopサイズ / 30分>



監督 **眞田 康平**  
KOEHI SANADA

1984年石川県生まれ。東京芸術大学大学院映像研究科監督候補校生。監督、脚本、編集ディレクター、修了制作の「しんしんしん」(11)が、渋谷ユーススペース他全国で公開され、ドイツのNIPPON CONNECTIONにも参加。卒業後、「イカカスと息子」(15)にて、ゆうばりファンタスティック映画祭短編部門で審査員特別賞受賞。



TITLE **うちうちの面達は。**

作家推薦団体 PFF  
制作プロダクション シネムーブ

CAST 田中奏生 田口浩正 濱田マリ 小川未祐 山元環

STORY 二週間前、夫婦喧嘩が原因でママは姿を消してしまっ。パパと志保は居所を知らない。でも13歳の浩次郎はママが家の中にいることを知っている。浩次郎はママが家族にバレないように手助けしているのだった。ママの人生を賭けた隠れんぼは一体どうなるのか。

<カラー / ビスタサイズ / 28分>



監督 **山元 環**  
KAN YAMAMOTO

1993年大阪府生まれ。大阪芸術大学映像学科卒業。双子であり俳優の山元駿を主演に制作した卒業制作の「コロシ、バタン、キュー」がPFF アワード2015審査員特別賞と神戸賞を受賞他、全国の映画祭で数々の映画賞を受賞。当面の目標は海外の国際映画祭でノミネートされて受賞すること。